

2018年5月30日

報道関係者各位

慶應義塾大学医学部

「免疫炎症性難病創薬コンソーシアム」をスタート**－3 アカデミア・3 製薬企業による協調的・競争的創薬研究－**

慶應義塾大学医学部内科学（リウマチ・膠原病）教室の竹内勤教授、内科学（消化器）教室の金井隆典教授らは、高知大学医学部附属病院免疫難病センターの仲哲治教授、国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所トキシコゲノミクス・インフォマティクスプロジェクトの山田弘プロジェクトリーダーおよび小野薬品工業株式会社、田辺三菱製薬株式会社、第一三共株式会社と共に「免疫炎症性難病創薬コンソーシアム」を設立し、共同研究をスタートさせました。

このコンソーシアムは、複数アカデミアと複数製薬企業が参加する新しい形の協業の場であり、関節リウマチ、潰瘍性大腸炎などの免疫炎症性難病を対象とし、質の高い臨床データを基盤とした詳細な遺伝子発現解析等を行うことにより、免疫炎症性難病に苦しむ患者さんのための新しい治療法・診断法の開発につなげることを目的としています。

1. コンソーシアムの概要

慶應義塾大学病院では、2010年に免疫統括医療センターを開設し、関節リウマチなどの免疫疾患に対し、診療科の垣根を超えた生物学的製剤治療を専門に行ってまいりました。さらに2011年には厚生労働省の「早期・探索的臨床試験拠点（医薬品／免疫難病分野）」に指定され、免疫炎症性難病に対する診療・研究を行うとともに積極的な新薬開発を進めています。

こうした背景により慶應義塾大学医学部・病院は免疫炎症性難病に対する高いレベルの診断・治療・臨床的評価を培ってきました。これらの知識を基に、検体に質の高い臨床情報を付し、それに対し細胞サブセット（注1）別に重層的オミックス解析（注2）を行うことで、これまでにない高品質なデータセットを取得することができます。

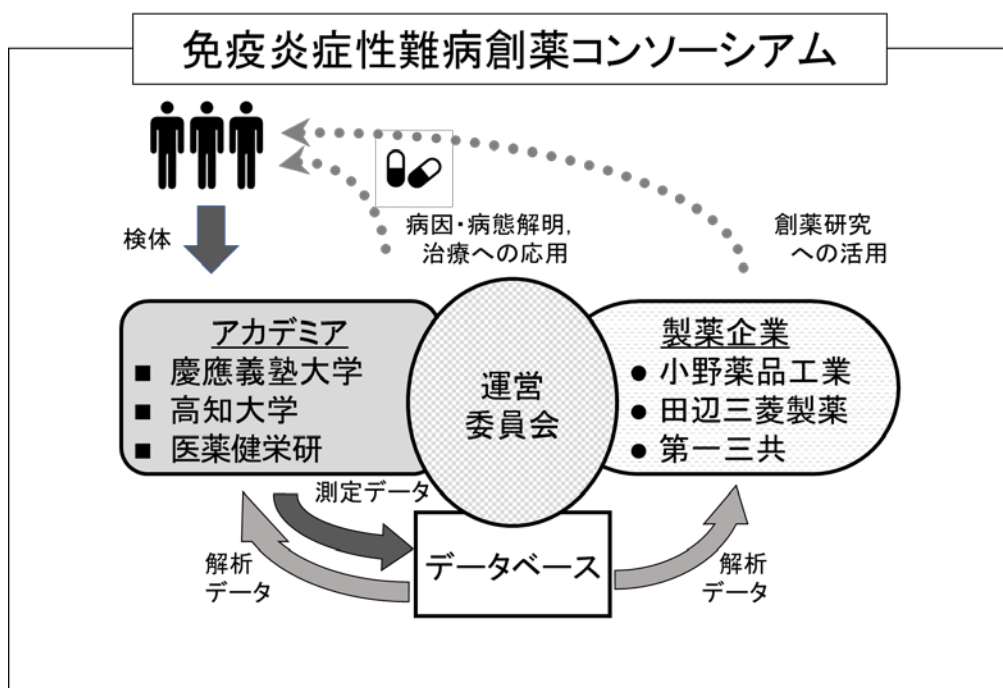
臨床検体は、慶應義塾大学病院と、高知大学医学部が共同して治療介入前後の定点で収集します。人の病気は遺伝的・環境的要因が大きく影響するため地域差が認められる場合が多く、地域に根ざした高知大学がコンソーシアムに参加することで、臨床検体の多様化を図ることができます。また厚生労働省所管の創薬研究所である国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所では最先端の創薬研究支援体制が整っており、このコンソーシアムによる共同研究では、検体組織から得られた大規模データの解析を行います。同時に、コンソーシアムを通じた人材交流により、若手の育成および免疫炎症性難病医療における診断・治療などの標準化とレベルの向上が促進されることも期待されます。

臨床検体の数は限られており、オミックス解析技術などを活用した基礎研究に必要な費用も増加していることから、これまでのようなアカデミアと企業との一対一の共同研究では新薬の効率的な創製が難しくなっています。このコンソーシアムではこうした課題を克服するため、複数アカデミアが検体収集および解析を行い、データ取得までは複数製薬企業が協力して資金を提供し、得られたデータはコンソーシアム参加機関で共有します。そしてこの共有データをもとに製薬企業各社は競争的に創薬研究を行い、アカデミア機関は研究成果をさらなる基礎・応用研究に役立てる、というこれまでにないユニークな産学連携のコンソーシアムとなっています。

2. 運営

2018年3月20日現在での参加機関は、本コンソーシアム構想時点で参加意思を表明した6機関であり、各機関のメンバーで構成される運営委員会がコンソーシアムの運営・管理を行います。

今後新たにコンソーシアムへの参加希望がある場合は、規約に従い運営委員会で随時検討するものとします。



3. 研究期間

5年間（2018年度～2022年度）

4. コンソーシアム所在地

東京都新宿区信濃町 35（慶應義塾大学信濃町キャンパス）

5. 参加機関

慶應義塾大学病院 リウマチ・膠原病内科、消化器内科

高知大学 医学部附属病院免疫難病センター

国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所 トキシコゲノミクス・インフォマティクスプロジェクト

小野薬品工業株式会社

田辺三菱製薬株式会社

第一三共株式会社

【用語解説】

(注1) 細胞サブセット：組織毎、または血液の場合は分離した細胞の種類毎、治療前と治療後、医師の診断による臨床情報別などの基準で、分類して作成した細胞のセット

(注2) 重層的オミックス解析：ゲノム解析、プロテオーム解析、トランスクリプトーム解析、メタボローム解析といった網羅的解析を多重に行うこと

*本資料は文部科学記者会、科学記者会、厚生労働記者会、厚生日比谷クラブ、各社科学部等に送信しております。

*本内容は、コンソーシアムの参加機関それぞれからリリースを行っております。

*ご取材に際しては、事前に下記までご一報下さいますようお願い申し上げます。

本発表資料のお問い合わせ先

慶應義塾大学信濃町キャンパス総務課（鈴木・山崎）

TEL：03-5363-3611 FAX：03-5363-3612 Email：med-koho@adst.keio.ac.jp